

圓山 重直 教授(東北大学流体科学研究所)が平成24年春 紫綬褒章を受章しました。

4月29日、政府は平成24年度春の褒章の受章者を発令し、東北大学流体科学研究所の圓山重直教授が紫綬褒章を受章することになりました。紫綬褒章は「学術、芸術上の発明、改良、創作に関して事績の著しい者」に授与される褒章です。圓山教授は、「熱工学研究」に関する功績が認められ、紫綬褒章が授与されます。

圓山教授は、ふく射伝熱の研究など熱工学の分野において、当該分野を深化させただけでなく異分野との融合により新たな研究を展開しました。つまり、熱電素子を用いた能動伝熱制御による人工心筋やクライオプローブの開発、大規模自然対流を応用した海洋深層水の汲上げプロジェクトなど先駆的な業績を挙げました。このように、圓山教授は機械工学の一分野である熱工学を深化させただけでなく、熱工学の新しい研究パラダイムを築く優れた業績を挙げています。

[問合せ先]

東北大学流体科学研究所 庶務係

shomu\*ifs.tohoku.ac.jp(\*を@に換えて下さい)

Tel 022-217-5302、5303